



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月15日

上場会社名 株式会社トミタ

上場取引所 東

コード番号 8147 URL <http://www.tomitaj.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 稔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 中村 龍二

TEL 03-3765-1219

四半期報告書提出予定日 2021年11月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,376	13.6	186	58.4	346	54.3	263	101.9
2021年3月期第2四半期	8,254	30.3	117	80.0	224	63.6	130	69.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 467百万円 (21.4%) 2021年3月期第2四半期 384百万円 (14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	50.84	
2021年3月期第2四半期	25.17	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	15,965	10,049	61.4	1,891.99
2021年3月期	15,846	9,642	59.3	1,813.52

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 9,810百万円 2021年3月期 9,403百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		11.00	11.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	9.1	590	148.2	720	49.2	460	45.1	88.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	6,158,000 株	2021年3月期	6,158,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	972,717 株	2021年3月期	972,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	5,185,290 株	2021年3月期2Q	5,185,314 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大への対策としてワクチン接種が進み、持ち直しの動きがみられたものの、緊急事態宣言による社会経済活動の制限及び世界的な半導体不足など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内は需要が前年同期比85.6%増加、海外でも需要が前年同期比105.0%増加し、その結果国内外全体の受注額は98.1%増加し7,854億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては、国内では増加した一方で、海外では北米及び欧州で増加したものの、アジアで減少し海外全体では減少となりましたが、国内外全体では前年同期比で増加となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億7千6百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は1億8千6百万円（同58.4%増）、経常利益は3億4千6百万円（同54.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千3百万円（同101.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### 日本

工作機械の受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は61億6千万円（前年同期比25.9%増）となり、営業利益は1億1千3百万円（同324.5%増）となりました。

#### 北米

自動車メーカー関係向けの受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億3千万円（前年同期比19.1%増）となり、営業利益は3千6百万円（同109.3%増）となりました。

#### 欧州

自動車メーカー向けの受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億2千9百万円（前年同期比44.0%増）となり、営業利益は2百万円（前年同期は1千2百万円の営業損失）となりました。

#### アジア

中国では回復基調にあるものの、東南アジアを中心とした新型コロナウイルスの感染拡大により、自動車・2輪車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億5千5百万円（前年同期比21.6%減）となり、営業利益は4千2百万円（同49.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品が4億2千3百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円増加し、159億6千5百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が5億4千1百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2億8千7百万円減少し、59億1千5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が2億3百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加し、100億4千9百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前年同期比3億7千7百万円減少し、54億5千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少5億7千7百万円などにより1億8千7百万円の収入となりました（前年同期は7億4千6百万円の収入）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、その他の収入3千7百万円などにより1千6百万円の収入となりました（前年同期は0百万円の支出）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出7千万円などにより1億5千1百万円の支出となりました（前年同期は1億9千7百万円の収入）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2021年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,311,280	5,460,585
受取手形及び売掛金	3,910,501	3,054,293
電子記録債権	904,406	1,175,617
商品	582,284	1,005,754
その他	510,283	533,346
流動資産合計	11,218,757	11,229,596
固定資産		
有形固定資産	1,036,796	1,047,882
無形固定資産	76,416	68,108
投資その他の資産		
投資有価証券	2,389,263	2,494,876
投資土地	787,862	787,862
その他	351,176	350,900
貸倒引当金	△14,146	△14,146
投資その他の資産合計	3,514,155	3,619,493
固定資産合計	4,627,367	4,735,484
資産合計	15,846,124	15,965,081
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,768,687	2,226,789
電子記録債務	1,230,455	1,387,533
短期借入金	297,266	221,710
未払法人税等	13,173	107,463
賞与引当金	57,000	71,800
役員賞与引当金	32,000	20,300
その他	405,366	496,198
流動負債合計	4,803,948	4,531,795
固定負債		
長期借入金	19,959	5,365
役員退職慰労引当金	317,764	296,019
退職給付に係る負債	22,367	23,912
その他	1,039,206	1,058,750
固定負債合計	1,399,298	1,384,047
負債合計	6,203,247	5,915,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	397,500	397,500
資本剰余金	280,300	280,300
利益剰余金	7,537,776	7,741,698
自己株式	△453,373	△453,404
株主資本合計	7,762,203	7,966,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296,763	1,366,004
土地再評価差額金	529,500	529,500
為替換算調整勘定	△184,796	△51,095
その他の包括利益累計額合計	1,641,467	1,844,409
非支配株主持分	239,206	238,734
純資産合計	9,642,877	10,049,237
負債純資産合計	15,846,124	15,965,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,254,096	9,376,847
売上原価	6,939,197	7,847,445
売上総利益	1,314,898	1,529,401
販売費及び一般管理費	1,197,392	1,343,322
営業利益	117,506	186,079
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,044	17,405
仕入割引	6,594	6,644
受取賃貸料	41,740	46,585
為替差益	28,005	20,978
保険解約返戻金	—	29,933
助成金収入	—	56,028
その他	32,685	2,653
営業外収益合計	129,071	180,230
営業外費用		
支払利息	2,882	2,017
不動産賃貸費用	15,185	16,401
売上割引	1,768	999
その他	2,308	654
営業外費用合計	22,144	20,072
経常利益	224,432	346,237
特別利益		
固定資産売却益	87	1,152
特別利益合計	87	1,152
税金等調整前四半期純利益	224,520	347,389
法人税、住民税及び事業税	42,999	96,672
法人税等調整額	39,342	△12,439
法人税等合計	82,342	84,232
四半期純利益	142,178	263,156
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,640	△454
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,537	263,611



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	142,178	263,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359,268	69,241
為替換算調整勘定	△116,660	134,778
その他の包括利益合計	242,608	204,020
四半期包括利益	384,786	467,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,801	466,554
非支配株主に係る四半期包括利益	1,984	623

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	224,520	347,389
減価償却費	29,709	29,421
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,585	△24,419
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62,900	14,800
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64,200	△11,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	919	862
受取利息及び受取配当金	△20,044	△17,405
支払利息	2,882	2,017
為替差損益 (△は益)	559	△6,712
固定資産除売却損益 (△は益)	△87	△1,152
売上債権の増減額 (△は増加)	2,340,646	577,561
棚卸資産の増減額 (△は増加)	78,609	△347,759
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,627,076	△422,509
前渡金の増減額 (△は増加)	△67,464	17,210
前受金の増減額 (△は減少)	△9,819	97,172
未収消費税等の増減額 (△は増加)	143,912	△5,285
その他	△151,231	△65,833
小計	829,521	183,656
利息及び配当金の受取額	20,044	17,405
利息の支払額	△3,261	△1,992
法人税等の支払額	△99,596	△11,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	746,707	187,481
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,273	△15,063
有形固定資産の売却による収入	557	1,224
投資有価証券の取得による支出	△8,658	△8,051
その他	15,626	37,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△748	16,006
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	375,469	—
短期借入金の返済による支出	△62,862	△70,546
長期借入れによる収入	29,690	1,853
長期借入金の返済による支出	△24,990	△24,990
自己株式の取得による支出	—	△31
配当金の支払額	△119,262	△57,038
非支配株主への配当金の支払額	△1,034	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	197,011	△151,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,412	97,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	898,558	149,304
現金及び現金同等物の期首残高	4,934,153	5,306,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,832,711	5,455,585

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は出荷基準を適用していた商品の国内販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める通常の期間を超過する場合には、検収時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,825千円増加し、売上原価は40,005千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,820千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,650千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	4,893,239	1,284,808	90,201	1,985,847	8,254,096	—	8,254,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,059,654	3,606	30,417	12,854	1,106,532	△1,106,532	—
計	5,952,893	1,288,414	120,619	1,998,701	9,360,628	△1,106,532	8,254,096
セグメント利益又は 損失(△)	26,795	17,650	△12,693	83,231	114,984	2,521	117,506

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,521千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア			
売上高							
外部顧客への売上高	6,160,313	1,530,690	129,846	1,555,996	9,376,847	—	9,376,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,341,290	3,816	42,320	8,319	1,395,746	△1,395,746	—
計	7,501,603	1,534,507	172,166	1,564,315	10,772,593	△1,395,746	9,376,847
セグメント利益	113,756	36,948	2,692	42,276	195,674	△9,594	186,079

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,594千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。